

時間割コード	G2B41102	開講年度	2026				
授業題目	フランス語圏の文化					担当教員	鈴木 球子
英文授業名	Cultures of French-speaking world I						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限	対象学生	全
講義室	共通教育4 3 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	・フランス語圏の文化・習俗・歴史等を学び、異文化理解と多 元的な判断力を養う。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (国際理解)						
(4)授業の概要	授業ごとに、以下の「授業計画・到達基準」で示すように、フランス語圏の文化に関連するテーマを定め、それに沿う形で情報提供をしていきますが、履修者の理解度に応じて臨機応変に対応もします。各授業後に課される小課題の内容と、期末試験とを合わせて評価します。						
(5)授業のキーワード	地域研究、ヨーロッパ フランス語圏						
(6)授業計画	1.オリエンテーション 2.「フランスの地理と気候」に関する講義 3.「パリの地区」に関する講義 4-5.フランス概史の解説 6.「フランコフォニー」に関する講義 7.「料理」に関する講義 8.「建築」に関する講義 9.「美術・美術館」に関する講義 10-11.「ファッション」に関する講義 12.「ワイン」に関する講義 13.「映画」に関する講義 14.「シャンソン」に関する講義 15.総復習、補足資料の解説 / 授業アンケート 16回目に期末試験を実施します。詳細は「成績評価の基準」を参照しましょう。						
(7)成績評価の方法	・各授業後に課される小課題（授業のまとめ：30点、グループワーク：20点） ・期末試験：50点 これらを総合して評価します。						
(8)成績評価の基準	・各授業後に課される小課題50点 （授業のまとめ）毎回の授業内容のまとめを、100字以上で提出してもらいます。授業内容を理解しているかどうかを、30点満点で評価します。 （グループワーク）授業内容についての意見・感想をe-ALPSのフォーラム機能を使って話し合ってもらいます。自分の考えを100字以上で、丁寧かつ冷静に述べられているか、他者の意見に対し丁寧かつ冷静な返答が返せているかどうかを、20点満点で評価します。 ※「おもしろかったです」等の単純な返答は、評価の対象になりません。 ・期末試験50点 授業中に配布されるレジュメのみが、持ち込み可です。レジュメへの手書きの書き込みは認められます。試験は以下の基準にしたがって採点されます。 1）試験問題を正しく理解しているか、2）扱っている問題の背景を説明できているか、3）授業内容を理解できているか、4）適切な表現で書けているか、5）自分の見解を明解な論旨で提示できており、かつ教員を感心させるレベルにあるか 総合得点が90点を越えれば「卓越している」、89～80点であれば「かなり上にある」、79～70点であれば「やや上にある」、69～60点であれば「合格水準にある」と評価されます。						
(9)事前事後学習の内容	事後学習：授業中に配布した資料やノートなどを読みかえしておきましょう。またe-ALPS上で行われるグループワークにも参加しましょう。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	遅刻は授業開始直後～30分までです。授業開始から30分を越えて入室した場合は、欠席扱いになります。また、遅刻を3回すると、1回分の欠席にカウントします。 ただ授業に出席してノートを取るだけでは、不十分です。とりわけ復習をしっかりすることが求められます。また、授業中・授業後の話し合いの時間には、きちんと自分の意見を表明する必要があります。期末レポートでは、授業内容をまとめるだけではなく、それを踏まえた上で自身の見解を示すことが求められます。						

(11)質問,相談への対応	オフィスアワー、メールアドレス：e-ALPSに提示します。 質問は基本的にメールにて受け付けます（土日と休日は返信しません）。
(12)授業への出席	全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するためには10回以上の出席が必要です。 「出席停止」に該当する際は、その旨の申請があり、指示された学修の補充に取り組んだ場合は成績評価の対象とします。 （申請については、翌授業日までに学修の補充に取り組むことを考慮し、基本的に「授業日を含めて4日目まで」とする。）
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断された場合は、健康安全センターからのメールを教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください。 ・「学修の補充の対象とする事由」により出席できず、補充を希望する場合は、『共通教育履修案内』に掲載されている方法により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	特になし
【参考書】	田村毅他ほか著/編、『フランス文化事典』,丸善出版株式会社,2012年,22000円（本体20,000円＋税）,ISBN 978-4-621-08522-6 朝比奈美知子ほか著/編、『フランス文化55のキーワード』,ミネルヴァ書房,2011年,2750円（本体2500円＋税）,ISBN 978-4623060153 ※ 参考書の購入は任意です。詳しくはオリエンテーションで説明をします。